



New インストラクター養成講座

New インストラクター養成講座

課題概要

1

課題1: 上手なプレゼンテーションをするには

課題2: 効果的な声の使い方

課題3: ボディーランゲージとジェスチャー

課題4: 知って得する Zoom のあれこれ

課題5: 上手なコミュニケーション

【言葉一つで弾む会話】

課題6: 全体的なまとめ

計画ガイド

課題 5

上手なコミュニケーション 言葉一つで弾む会話

資料	<u>主催者が用意するもの</u>
<p>Zoom:参加者に向けて前もって配信する</p> <ul style="list-style-type: none"> ①進行上のお願い ②プレゼンテーションに使うパワーポイントのスライド3枚を1ページに印刷したもの ③Zoom への招待 URL <p>対 面:参加者に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ①プレゼンテーションに使うパワーポイントのスライド3枚を1ページに印刷したものを用意する。 ②配布物は机の上に置いておくか、参加者が入ってきた時に手渡すと良いでしょう。 	<p>Zoom:①Zoom への招待 URL</p> <ul style="list-style-type: none"> ②入室許可(共同ホストを設定し依頼も可) ③開会から 15 分前には開けておく ④講師や司会者を画面の上段に配置する <p>対 面:①会場の予約</p> <ul style="list-style-type: none"> ②机・座席の用意準備 ③準備(マイク、プロジェクター、スクリーン、パソコン)
<p>注</p> <p>S1 - 配布物のページの中のスライド番号</p>	<p>注</p> <p>講座内容の時間配分に気をつけること。 話に集中できるのは、20分～30分 参加者の様子を見ながら、質問を投げかけたり、軽い運動を促したりする。 Zoom:進行上、参加者をミュートにすることもある。 対 面:快適に過ごすために会場の温度や騒音にも気を配る。</p>

資料	タイトル	内 容	注意すること
S2	Newインストラクター養成講座 課題概要	本日は、Newインストラクター養成講座の中の課題5:上手なコミュニケーション言葉一つで弾む会話です。	画面共有を使って パワーポイントで プレゼンをする
S3	課題5 上手なコミュニケーション 言葉一つで弾む会話	<p>「声は人格、話し方は品格、言葉は知性、表情は心」と言われています。声は人格そのもの。語られる言葉はその人の生き方そのものです。その人の品性や生き方がにじみ出ると言われています。</p> <p>どんなに正しい発音や言葉遣いをして、気持ちも籠っていなければ相手には伝わりません。まずは、「言葉の前に心あり」という気持ちで、相手を思う気持ちを大切にしたいと思っています。</p> <p>これまでインストラクター養成講座では、自分の想いを効果的に伝えるためには、どんなことに気を付けたら良いかというプレゼンテーションのテクニックを中心に説明を進めてまいりました。</p> <p>本日は、上手なコミュニケーションのために、会話にちょっとした言葉を付け加えるだけで、人間関係が豊かになって会話がスムーズになる「言葉一つで会話が弾んでくる」という「気遣いのちょっとしたことば」の工夫を皆様とともに、確認していきましょう。 それでは、よろしいですか。</p>	画面共有を外す。 講師の画像にスポットライトにする
S4	相手を思いやる会話 どうぞ～	何気ない話の中に、ちょっと一言添えるだけで会話が弾んでくる場合があります。例えばお食事やお茶を出されたときに、「どうぞ！」と言われただけでは、なかなかお茶をいただくことはできませんよね。「どうぞ、温かいうちに召し上がれ。」とか「どうぞ、召し上がって、これ美味しいのよ。◎◎さん、いかが」と名前を出されたりして勧められると「それでは遠慮なく。」というように、食事も遠慮なくいただきやすくなります。	画面共有を使ってパ ワーポイントで プレゼンをする

資料	タイトル	内 容	注意すること
S4		<p>例えば、お正月にちょっと気遣いなお宅にお伺いしたときに、豪華なおせち料理を前にして、 「どうぞ～」と言われただけだと、なんとなく食べれるものなら食べてみろ！みたいな感じで遠慮が先になってしまいます。「お好きと聞いていたから用意していたのよ。」と言われて悪い気持ちにはなりませんよね。 言葉の表現方法一つとっても、その人の人間性が表れてきます。 さりげない一言を添えるだけでも、その場の雰囲気や和やかになりますね。相手を思いやる気持ちが大切です。</p> <p>日頃から使っている簡単な言葉も使い方ひとつで、相手の気持ちに寄り添う「気遣いのちょっとした言葉」になります。どんな時に、どのような言葉が使ったら、会話がスムーズになるのか、確認していきましょう。</p>	
S5	<p>気遣いのちょっとしたことば おはよう こんにちは</p>	<p>挨拶のことばは先手必勝です。親しくするには、「おはよう」「こんにちは」など、まず自分から声をかけること。そして、次に、ちょっとした言葉をかけます。</p> <p>例えば、〇〇さん 年次大会で久しぶりの方にお会いしました。 「おはよう」又は「こんにちは」の後に、どんな言葉を掛けますか。 【2～3名に問いかける】</p> <p>それでは、今度は、朝、ゴミ出しをしたときに、ご近所の方に会いました。 どんな言葉を掛けますか。 【2～3名に問いかける】</p> <p>そうですね。ありがとうございました。 「お元気ですか」「調子はどうですか？」「その後、腰の具合はいかがですか」 ※自分のことを気にかけてくれたと思うと嬉しいですね。 相手の状況に限りなく寄り添い、相手を優先してかける一言でより心が開きます。</p>	<p>参加者に答えてもらう</p>

質問	タイトル	内 容	注意すること
S6	気遣いのちょっとしたことば はい！に続く言葉は	<p>「おはようございます。〇〇さん」「おはよう。今日も暑くなりそうですね。」「こんにちは 先日はありがとうございました。」など、挨拶の後に、ちょっとした言葉を掛けるだけでも、より親しみを感じてもらえます。</p> <p>初対面でなくても、あまり会話の弾まない時には、雑談から始めるのが一番よいでしょう。「今日は気持ち良い天気ですね。」とか、「だんだん暑くなってきましたね。熱中症には気を付けたいですね。」というように、相手も自分も「ああそうですね。」という共感するような話をするのが一番よいです。</p> <p>雑談をする時には、返事が返ってきやすいような、みんながよく知っている共感できる話題をもってくと良いです。お天気や季節のこと。スポーツ。食べ物のこと、時の話題など。</p> <p>雑談をすることで、心が楽しい気持ちになります。おだやかな気持ちになって話をすすめるのに、とても効果的です。そして、ここから、言葉のキャッチボールが始まります。コミュニケーションが始まりますね。</p> <p>自分の話す「ことば」を意識するだけで、上手なコミュニケーションをとることができます。</p> <p>何かを頼んだ時に「はい」と返事が返ってくると気持ちがよいものですね。しかし、「はい」だけでは分かったのか分からないのか、いつやってくれるのかが分からない時があります。</p> <p>「はい」という返事に、ちょっとした言葉を足すだけで効果倍増 「はい」→「はい。ただいますぐに取り掛かります」「はい。もちろんです」「はい。お任せください。」 「はい。承知しました。」「はい。かしこまりました。」</p>	

資料	タイトル	内 容	注意すること
S7	<p>依頼・お願いをする時のちょっとしたことば</p> <p>可能でしたら</p> <p>お手すきでしたら</p>	<p>※「はい」だけでなく、それに何かの言葉を足すとより相手を安心させる言葉。物事がスムーズに進み、あなたへの信頼感も高まります。</p> <p>何かをお願いした時に、相手から「はい、大丈夫です」とか「はい、もちろんです」と言われたら、この人に頼んでよかったという安心感が広がります。相手に対して親しみがわいてきます。</p> <p>【例】 もし、相手が目の上の方の場合は 準備ができているかしら？はい、大丈夫です。これは NG です。 はい。目上の人に「大丈夫」という言葉は不適切。 「問題ありません」または「はい、準備はできています」と返しましょう。</p> <p>親しい間柄でしたら、もっとフランクな言い方をした方が親近感がわいてくる場合もあります。ケースバイケースで使い分けてくださいね。</p> <p>※また、今では LINE のスタンプで「了解しました。」「承知しました」がありますが、「了解しました」は、自分より目下の人に使うものですから気をつけてください。</p> <p>次は、これをぜひお願いしたい時に、相手が思わず引き受けてしまう「依頼・お願い」をする時のちょっとしたことばです。</p> <p>何かを頼むとき、命令タイプでするのではなくて、相手の事情を汲んだうえでお願いしているのですよ～という気持ちを込めての言葉</p> <p>今は忙しくても手が空いた時でよいよ～と相手は譲歩していますし、言われた方も、それでは手が空いた時にすれば良いかなと気持ちが楽になります。</p>	

資料	タイトル	内 容	注意すること
S7	<p>恐れ入りますが</p> <p>もしよろしければ</p> <p>ぜひ ○○ さんをお願いしたい</p>	<p>「すみません」というよりも、「恐れ入りますが」はちょっと頭を下げて、お願いしますねというニュアンスが感じられます。誰かに何かをお願いする時に、「すみません」というよりも「恐れ入りますがお願いできますか」と言った方が品格が感じられます。</p> <p>もしよろしければ、この後お茶でもいかがですか。と言うように相手が断りやすいニュアンスを含んだ言葉です。</p> <p>相手の状況に対する気遣いと「あなただからこそお願いをしている」という思いがこもっています。自分の名前を出して頼まれると喜びとともに、相手が自分のことを信頼してくれていると感ずることがあります。効果的です。</p>	
S8	<p>依頼・お願いをする時のちょっとしたことば 2</p>	<p>これら以外に お忙しいところ申し訳ないのですが お手数をお掛けしますが 今、お時間よろしいですか という言葉もあります。</p>	<p>参加者が講義に関心を示しているかどうかを確認しながら説明をする(一方的に話をしない)</p>
S9	<p>相手の「依頼」をお断りする時のちょっとしたことば</p>	<p>お誘いを受けても無理な時もあります。同じお断りをする時も、自分の気持ちをそこに込めてください。簡単に無理、無理、無理と言うだけでは、相手からの気持ちが、ちょっと離れてしまいます。</p> <p>声を掛けてもらったのに断るのは気が引けます。せっかく良好な関係なのに、断ったことで悪くなったらどうしようという気持ちになる時もあります。</p> <p>そんなときに、やわらかく断るときに使う言葉があります。</p> <p>→謙虚な気持ちも含まれています。</p>	<p>共同ホストに、ブレイクアウトルームの準備を進めておいてもらう【4人1組10分間】</p>

資料	タイトル	内 容	注意すること
S9	有難いお話(おことば)ですが あいにく お気持ちだけいただきます	→お誘いはありがたいし嬉しいのですが、いたしかねます。身に余る光栄です 【残念ですという意味も含む】……。 あいにく、その日はダメですが、この日はいかがでしょうか。と代替案を出すことで、相手もはっきり断られたのではなくて、調整してくれていると感ずることが出来ます。 しっかりはっきりと断るのではなくて、相手の気持ちだけありがたいいただきますよというニュアンスが含まれている	話し手は、一方的に話を進めるのではなくて、参加者の様子に気を配る
S9	残念です でも嬉しいです 申し訳ないです	他にも、残念です、でも嬉しいです、申し訳ないです、別の予定があって など相手の気持ちを汲み取りながらもお断りする言葉があります。 ※昔から、「言霊」と言われるように、言葉は発せられた瞬間から目に見えない力を持つと考えられてきました。例えばお詫びをする時に、顔をそらせながら「申し訳ございません」と言っても、気持ちが通じないどころか、悪い印象になる可能性もあります。 言葉を発する時の姿勢や動作、表情、話の間などからも印象は変わってきます。どうぞ、相手への思いやりの気持ちを持ってください。	
S10	依頼・お願いをする時のちょっとした言葉 拒否したら譲歩のテクニック	『影響力の武器』という本の中で、「拒否したら譲歩」というテクニックが紹介されています。これは心理学者、 ロバート・チャルディーニ によって記【しる】された説得の手法です。何かというと、「相手に対して最初に大きな要求を行い、拒否された後により小さな要求に移ると相手の同意を引き出しやすくなる」という技法です。	

資料	タイトル	内 容	注意事項
S10		<p>最初の依頼を断ったことに対して、人は心理的な負い目を感じる。次回何らかの依頼(最初の依頼よりもハードルが低く譲歩した感じがあるもの)があった際には、受け入れる可能性が大きく高まります。</p> <p>つまり、ダメもとで、初めは大きなことを頼んで、ダメだったら、小さなことを頼むというテクニックです。</p> <p>依頼をする時 依頼をお断りする時 拒否したら譲歩 これらのテクニックをお伝えしてきました。</p> <p>このパターンを使って、実際に演じていただきましょう。</p> <p>〇〇さんと〇〇さん、いかがですか。</p> <p>1.お誘いする 2.断る 3.別の小さなことを依頼する 4.譲歩する</p> <p>その時お互いにどんな気持ちになるか覚えていてください。あとでお伺いします。</p> <p>このパターンでお願いいたします。</p> <p>どのような展開となりますか。皆様お楽しみください。</p> <p style="text-align: center;">(参加者に演じてもらう)</p> <p>いかがでしたか。このパターンで、皆様にもブレイクアウトルームで体験していただきましょう。</p>	<p>共同ホストに、ブレイクアウトルームの準備ができたか確認する</p> <p>参加者に声かけする</p> <p>ブレイクアウトルームにて何をするのか説明をする</p>
S11	ブレイクアウトルーム 4人一組 10分間	<p>4人一組となって、お誘いをする。お断りをする。譲歩する。これなら受けられるかなという返事をする。所要時間は10分間です。</p> <p>誰がどのような役割でもよいです。どんなふうに演じるのか、楽しんでください。</p> <p>それではよろしいですか。</p> <p style="text-align: center;">いってらっしゃい ⇒ ブレイクアウトルーム ⇒ お帰りなさい</p> <p>ITC-Jの方は、本当にお誘いお上手なので、どのような展開になったのか興味があります。いかがでしたか。(参加者に様子を聞く)</p>	<p>参加者に様子を聞く 発言してもらう</p>

資料	タイトル	内 容	注意すること
S12	<p>意見・提案・質問をする時のちょっとしたことば 失礼ですが よろしかったら 私の考えにすぎませんが ひとつよろしいでしょうか？ 例えば～と言うのはいかがでしょうか。</p>	<p>その場の雰囲気が悪くならない『意見・提案・質問』をする時のちょっとしたことばです。 ○失礼ですが⇒念のために、もう一度聞き返したいときに使われます。自分の理解が足りていなくて失礼ですが、もう一度お伺いしてもよろしいですかというニュアンスが含まれています。念のため～とすることもあります。 ○私の考えにすぎませんが⇒「……と私は思います」をあまり連発されるとあなたはそう思っても私は、そうは思っていないと心の中で反発されてしまいます。そんなときに、私の考えですが～ひとつのプランですよという控えめな言い方をすることで話が進むことがあります。 ○ひとつよろしいですか⇒話が長引いて、そろそろ結論を出してしまうのではないかというような時に、内容を確認する意味で使われます。ひとつお伺いしてもよろしいですか。 ○例えば～というのはいかがでしょうか⇒人は、私はこう思います!と言い切られるような話し方をされるとカチンとくることがあります。そんなときに、例えば～こういう考え方はいかがでしょうか。という話し方をされると、例えばという、あくまでも一つのプランですよ～と相手に譲歩しているような伝え方になるので、相手も、いかがでしょうか→そうですね という言葉を引き出しやすくなります。</p>	
S13	<p>できるだけ使わない方がよいことば なるほど～</p>	<p>「なるほどー↑」と語尾を上げていう言葉は、同意をしているような言葉であっても目上の人に使うのはNGの言葉です。「おっしゃるとおりです」というのが正解ですが、わざわざ言うほどのことでもないで「なるほど」は封印しておきましょう。 口グセになっている人は気を付けてください。なるほど↓と語尾を下げるとまた感じが違ってきます。</p>	

資料	タイトル	内 容	注意をすること
S13	<p>でも しかし いやいや そうは言っても それはない</p> <p>よくわかりました</p>	<p>自分の提案は覆されたくない、懸命に言い訳を考えたり、さらに反対意見をひねり出したり躍起になったりする人がいます。でも、その結果、こちらの言い分に、まともに耳を傾けてもらえなくなります。</p> <p>でも しかし いやいや そうは言っても それはない これらの言葉は封印して、相手に最後まで聞いてもらうには、まずは、「よくわかりました」と相手の主張を受け止めて、そのあとに「それで、私の考えですが」と切り出していく。</p> <p>「それで」「そして」「それから」と言葉で繋いでいくと会話が弾んできます。</p> <p>つい、使ってしまうような言葉に「それはそうだけれども」と言うのがあります。言い訳がましいので、使わない方が良いです。</p>	
S14	<p>感謝を伝えるちょっとしたことば</p> <p>ありがとうございます</p> <p>おかげさまで お心遣いを お気遣いを 感謝 感激 至福 堪能</p> <p>おかげさまで</p> <p>本当に ⇒ 誠に</p>	<p>何かをしてもらったら、どんな言葉を返しますか。【〇〇さんと問いかける】</p> <p>そうですね。まずは、ありがとうございます。</p> <p>何かしてもらったら、「ありがとう」という感謝の言葉ひとつで、お互いの気持ちが通じ合いますね。感謝の気持ちを伝える基本の言葉です。皆様は、こうした言葉の使い方がとてもお上手です。</p> <p>おかげさまで お心遣いをいただき お気遣いを ありがとうございます ゆっくりお話しできてよかったです 助かりました【本当にちょっとした言葉です】 どうぞお構いなく 感謝 感激 至福 堪能</p> <p>※お礼を口にする時、どんなことをどのように感謝しているのかシンプルに伝えたい言葉です。</p> <p>○おかげさまで→人間一人では生きていてのではないので、皆様のおかげでこうして生きていますという意味を込めて、おかげさまでという言葉を使う。</p> <p>○本当にありがとうございます→誠にありがとうございます</p> <p>本当に を繰り返すのではなくて、誠に というと大人の階段を一步上がったような</p>	<p>参加者に質問をする</p>

資料	タイトル	内 容	注意すること
S14		<p>気持ちになります。</p> <p>何かしてもらった時にいちいち「ありがとうなんて言わない！」という方も案外多いかも知れません。</p> <p>思い当たることがありますか？ そんな時に、「ありがとうね。」とか「助かったよ。悪いね。」という言葉があるかないかだけでも、人間関係は違ってきます。</p> <p>また、お世話になって嬉しかったんだけど、とっさに上手い言葉がみつからなくて、何のお礼も言えないし話せない。という方もいらっしゃると思います。そんな時は、自分の気持ちを伝えるために、そっと相手に微笑むだけでも、十分に気持ちは伝わります。</p>	
S15	<p>相づちの極意 さしすせそ</p> <p>さ</p>	<p>会話中に人を褒めることは、人を向上させます。脳は誉め言葉を報酬やギフトとしてキャッチしていることが分かったそうです。そこで、皆様に覚えていただきたいのはさしすせそです。</p> <p>他にも なるほど わかります おっしゃる通りです いつでもどうぞ はい喜んで という言葉もあります。</p> <p>「さ」さすが(承認欲求が最も満たせる相づち) 人は誰かから認められたいという承認欲求があります。 「さすがですね」という言葉には、この承認欲求を満たす力があります。 人は仕事や勉強で成功した時、「さすがですね」と言われたら、承認欲求が満たされて嬉しくなるはずですが、相手の実力が期待どおりというニュアンスがありますよね。それだけ相手のことを普段から認めているということの現れです。 こういった意味でも、「さすが」という言葉はコミュニケーションを取るうえで有効な相づちと言えます。</p>	<p>画面共有を外して紙に書いたさしすせそを見せながら説明する</p>

資料	タイトル	内 容	注意すること
S15	そ	<p>センスを褒めるということはその人の好みや空気感、人間性といった全体感に対する褒め言葉ともとれます。自分に対してこれほどの称賛を送ってくれるような相手に、嫌な気がする人は極めて少ないでしょう。ただ、センスがいいという言葉を使う際には、ちょっと注意が必要です。使い方やニュアンスによっては、少し上から目線からの発言のようにとらえられてしまうことがあるからです。</p> <p>目上の方に対しては、場合によっては気分を害する可能性もあるので、親しい相手などに対して言うようにした方がいいかもしれません。</p> <p>「そ」そうですね(人間関係の基盤をつくる相づち) 「そうなんだ」「そうですね」 また、「そうなんだ」のいう相づちは、「知らなかった」と同じ意味合いを含む言葉です。なので、相づちのバリエーションを豊富にするために「知らなかった」という相づちと場面によって使い分けるといいかもしれません。</p> <p>「そうですね」という相づちは、相手の意見に共感し肯定している意味合いになります。</p> <p>自分の話に相手が共感してくれるのは、誰にとっても嬉しいものです。もし相手とは異なる意見を述べるとしても、まずは「そうですね」の相づちで相手の意見に共感を示して肯定しましょう。</p> <p>後から自分の意見を述べた方が相手はあなたの意見を受け入れやすく、人間関係も良好になると思います。</p> <p>でも、この「さしすせそ言葉」をあまり頻繁に使っていると、語彙が乏しく知性が感じられないという印象を与えてしまいます。語彙の豊かさは相手に魅力のある人と感じてもらえます。どうぞ、気を付けてくださいね。</p>	

資料	タイトル	内 容	注意すること
S16	<p>会話が弾むコツ</p> <p>3つのポイント</p> <p>聞いていることを反応で示す</p> <p>言葉で受け答えをする</p> <p>相手の気持ちに共感をする</p>	<p>会話が弾むコツは:相手の声の速度・トーン・呼吸に合わせることです。相手の呼吸と自分の呼吸を合わせることで、あいつと馬が合う、息が合うということになります。</p> <p>会話が弾むコツには、3つのポイントがあります(聞き上手になることです)</p> <p>1.聞いていることを反応で示す→話し手は聞き手の態度に敏感に反応します。もし仮に、目をつぶって腕を組んでいる人に話しかけると想像してください。とても話しづらいです。顔を横に向けたままの相手に話をしても、あまり良い感情がわいてきませんね。(壁の耳を覚えていますか。)</p> <p>逆に顔をこちらに向けて頷いてくれれば言葉もスムーズに出てきます。聞き手の反応次第で会話が弾んできます。</p> <p>2.言葉で受け答えをする→的確な反応が返ってくると話が弾みます。相手の発した言葉を繰り返したりするときもあります。相手の言葉を繰り返すと、私の話をきちんと聞いてくれていると良い印象を与えます。これには話の内容を正確に聞き取る必要があります。集中力を高めて、話の内容に興味・関心を抱くことが大切です。</p> <p>3.相手の気持ちに共感すること→話の内容にとらわれるのではなくて、話している相手の感情の動きに意識を向けて聞いてみましょう。これは相づちであったりもします。話し上手、聞き上手になるには、お互いに相手への思いやりが大切です。</p> <p>難しい言葉や専門用語を避けるだけでも、あの人の話は分かりやすいと言ってもらえます。</p> <p>①相手の話を受け入れる。細かい間違いをいちいち指摘せずに聞く。</p> <p>②普段から新聞やテレビなどで話題を集めておく。</p> <p>このようなことを意識していると話題が増えて会話が楽しく会話が弾んできます。</p>	

資料	タイトル	内 容	注意すること
S17	ことば遣い	<p>会話を弾ませるコツは、相手に合わせた言葉遣いをします。 仲の良い友達同士とは違って、ちょっと気遣いのある方、目上の方には言葉遣いにも気を付けなければなりません。 話上手になるには、相手への思いやりが大切です 相手への気遣いを忘れてはいけません。正しい敬語を知ったうえで、時には崩した話し方をする時もありますが、まずは基本を身につけた上で自分らしくアレンジしていくとよいでしょう。 ちょっとクイズをしましょう。正しい敬語に直しましょう。 これは。どんな言葉に言い直しますか。〇〇さん【参加者に質問をする】 とんでもございません→とんでもないことでございます とんでもないことです すみません→恐れ入ります 忘れました → 失念いたしました 思います→存じます 分かりました→承知いたしました かしこまりました 分かりません→分かりかねます</p>	<p>参加者が集中しているかどうか様子を見る</p> <p>クイズに答えてもらう ミュートを外して参加者に声を出してもらうことも良い。</p>
S18	<p>とんでもございません すみません 忘れました S18 思います 分かりました 分かりません</p>	<p>とんでもございません→とんでもないことでございます とんでもないことです すみません→恐れ入ります 忘れました → 失念いたしました S18 思います→存じます 分かりました→承知いたしました かしこまりました 分かりません→分かりかねます</p>	
S19	<p>ことば遣い きれいな言葉 さっき やっぱり じゃあ すごく</p>	<p>言葉は品格です。きれいな言葉を使うことで自分の意識や態度に変化が生まれます。っ を取るだけでも、改まった表現となります。 さっき → さきほど やっぱり → やはり 他にも、まだまだあります。とつても→とても どっちにする → どちらになさいますか こっちに集まってください → こちらにお集まりください じゃあ → では すごく → ととても たいへん</p>	

資料	タイトル	内 容	注意すること
S20	<p>いいですか あとで</p> <p>ことば遣い わざわざ</p> <p>こんな</p> <p>参考になりました</p> <p>番外編 思います</p>	<p>いいですか → よろしいですか あとで → 後ほど【お会いしましょう】</p> <p>つい使ってしまう わざわざという言葉 「わざわざありがとうございます」→わざわざも「余計なお世話」ととらえられる場合があるので、「ご多用のところをありがとうございます。」はいかがでしょうか。</p> <p>「こんな」 → こんなに 退任の方にお花をプレゼントしたときに、相手は花束をもらって嬉しくてつい、「こんな花をいただいて～」と言いました。その時、居合わせた方々には、「こんな花しかもらえないのか」となじるような意味合いにも聞こえてしまったことがありました。言葉一つでも、難しいです。</p> <p>うっかり使ってしまう言葉に、「参考になりました」があります。これも、間違えて使っている人が多い言葉のひとつです。「参考」というのは、自分の意見を決める際の判断材料のひとつにすること。そのため、目上の人に対して使うのは、「失礼だ」という見方があります。これは、一生懸命説明してきたのに、「あなたには、参考程度なのね。」という気がします。「勉強になりました」と言った方が私の話がお役に立てたのかしらと嬉しくなると思います。</p> <p>思います を連発しないこと。あまり連発すると自分の発言に自信がないのかと心配になります。「始めたいと思います」「お願いしたいと思います」は使わない。「これから始めます。」「お願いします。」と言い切るのに不安があれば「始めましょう」と呼びかけたり、「お願いできますか」と問いかけたりします。</p>	

資料	タイトル	内 容	注意すること
S20	<p>させていただきます</p> <p>せいぜい</p>	<p>「させていただきます。」はあまり連発しない。させていただきますは、相手に許可を取る場合に使われる言葉です。なんとなく謙虚で感じが良いからと頻繁に使っていると耳障りな言葉に聞こえてしまいます。</p> <p>「せいぜい」言葉の意味は世代で受け取る意味合いが変わり誤解を招くことがあります。せいぜい という言葉には「十分に」という古風な意味合いもあり、年配者が言う「せいぜい頑張ってください」が、若い世代には、あまり期待はしていないニュアンスでとらえられてしまうことがあります。気をつけて使った方が良いでしょう。</p> <p>これ以外にも、「気が置けない」という言葉があります。</p> <p>以前は、気心が知れていて親しい関係を表す言葉が、今では気持ちが許せない関係のように受け止められてしまうことがあります。</p> <p>言葉の変化について知っていくことも大切になってきます。</p> <p>本日は、たくさんの言葉遣いについて学んできました。</p> <p>思いやりの心を示す言葉を考えることで脳が活性化します。</p> <p>自分の想いを伝えるために、お互いを思いやるという心を持って、上手なコミュニケーションをとることで、自分の人生が豊かになっていくと思います。</p> <p>ちょっとした言葉一つで会話が弾みます。</p> <p>どうぞ、あなたの言葉遣いを意識してください。</p> <p>ここまでで、何か質問がありますか。</p>	<p>参加者に質問があるか聞く</p>

作成:ITC-J 第 43 期リーダー育成委員会
 委員 山口久美子
 監修:ITC-J 第 43 期リーダー育成委員会
 発行:ITC-J 第 43 期教育資料委員会
 2025 年 7 月